

【広島市消費者物価指数】

1 平成 26 年 2 月の動向

- 広島市総合指数（99.9）は前月比で 3 か月連続の下落。前年同月比は 8 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月比で 3 か月連続の下落。前年同月比は 8 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.0）は前月比で同水準。前年同月比は 5 か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.9	▲0.2	1.1
生鮮食品を除く総合指数	99.8	▲0.1	0.9
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.0	0.0	0.5

3 前月からの動き

～被服及び履物は上昇、食料は下落。～

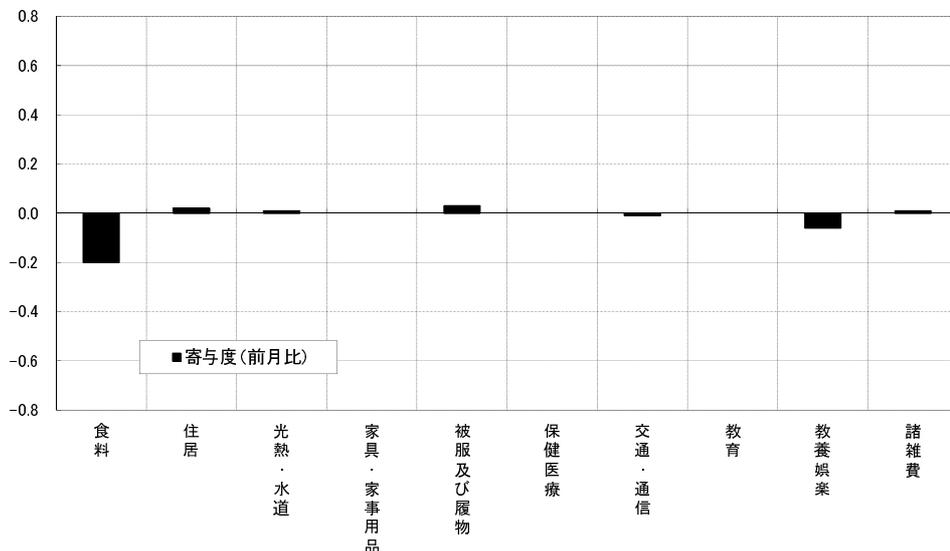
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.9	100.8	98.6	109.0	92.2	98.8	97.9	102.2	98.8	92.2	106.5
前月比 (%)	▲0.2	▲0.8	0.1	0.1	▲0.1	0.6	▲0.1	▲0.1	0.0	▲0.6	0.1
寄与度	▲0.2	▲0.20	0.02	0.01	0.00	0.03	0.00	▲0.01	0.00	▲0.06	0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：洋 服（前月比 6.9%，寄与度 0.12）等
食 料：野菜・海藻（前月比 ▲4.3%，寄与度 ▲0.12）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
洋服 (婦人コート 等)	6.9%	野菜・海藻 (えのきだけ 等)	▲4.3%
家賃 (持家の帰属家賃 等)	0.2%	シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	▲8.9%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	1.3%	肉類 (牛肉[国産品] 等)	▲2.9%
菓子類 (ケーキ 等)	0.9%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲4.4%
乳卵類 (鶏卵 等)	1.7%	室内装備品 (カーテン 等)	▲9.2%

4 前年同月からの動き

～食料及び光熱・水道は上昇、住居は下落。～

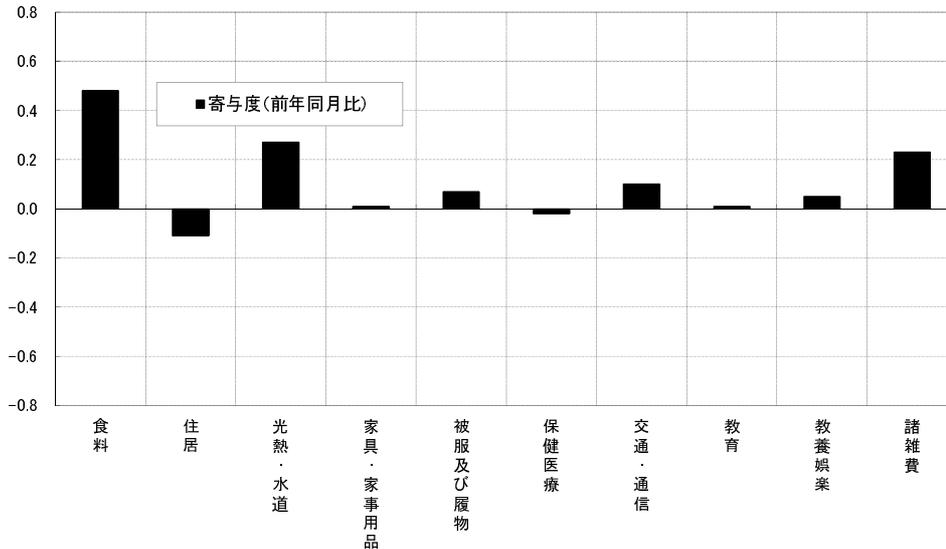
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.1	1.9	▲0.5	3.4	0.2	1.7	▲0.5	0.7	0.4	0.5	3.6
寄与度	1.1	0.48	▲0.11	0.27	0.01	0.07	▲0.02	0.10	0.01	0.05	0.23

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：魚介類 (前年同月比 8.1%, 寄与度 0.17) 等
 光熱・水道：電気代 (前年同月比 4.5%, 寄与度 0.17) 等
 住 居：家賃 (前年同月比 ▲0.7%, 寄与度 ▲0.12) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代 (電気代 等)	4.5%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.7%
魚介類 (ぶり 等)	8.1%	飲料 (コーヒー豆 等)	▲3.5%
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	8.0%	穀類 (うるち米 等)	▲1.7%
野菜・海藻 (たまねぎ 等)	5.0%	教養娯楽用品 (園芸用肥料 等)	▲2.3%
外食 (ハンバーガー 等)	2.2%	家事用消耗品 (防虫剤 等)	▲3.9%